

オープンイノベーションによる

課題解決エコシステムの構築

共創を通じた企業の持続的発展と社会課題解決をめざして

兵庫県産業労働部新産業課 主任

足立公志

1. はじめに

人口減少等による働き手の不足やデジタル技術等の急速な発展により、企業を取り巻く環境は加率的に変化しています。このような将来の予測が難しい時代の中、企業には柔軟な発想によるイノベーション創出への取組が迫られています。

昨今、革新的な技術やサービスにより、新たな価値を提供するスタートアップが存在感を増している一方、これまで長年にわたって経済を牽引してきた中小企業等も、さらなる持続的な成長を遂げるために、ビジネスモデルの変革や新規事業開発等が必要不可欠となっています。

そのような中、自社組織内外のリソースを最適に組み合わせたいノベーション創出手法である『オープンイノベーション』が注目されており、兵庫県としても、他社との共創・協業はスピード感を持って効率的また効果的に新規事業開発等に取り組むことができる方法であると考えています。

2. 「ひょうごオープンイノベーションチャレンジ」の実施

そこで、兵庫県では令和5年度から、県内企業とスタートアップ等のオープンイノベーションを推進するプログラム「ひょうごオープンイノベーションチャレンジ」を開始しました。

本取組では、オープンイノベーションやスタートアップとの共創の可能性を身近に感じていただき、オープンイノベーションが有効な手段であることをご理解いただくために、オープンイノベーションに関するさまざまな内容のイベントを定期的に開催しています。

具体的には、各地域や企業での実践的な事例の紹介、オープンイノベーション成功に向けたノウハウ等を提供するセミナー、スタートアップや県内企業による共創に向けた事業紹介ピッチ※、オンラインで気軽に情報交換等の交流ができるコミュニティの展開などです。参加企業の皆さまに

は、オープンイノベーションについて知り、自社の強みや弱み等をもとに他社との共創の可能性について考え、スタートアップをはじめとする協業相手の候補となる企業との

出会いを得られる機会となっております。昨年度は、県内外から延べ400名超、約170の企業・団体の皆さまにご参加いただき、実際に建設会社とIT系スタートアップの協業事例も生まれています。



「ひょうごオープンイノベーションチャレンジ」ロゴ



「ひょうごオープンイノベーションチャレンジ」

本イベントは、今年度も概ね毎月第2水曜日に起業プラザひょうご（神戸市中央区）で開催しております。また、他社との協業を検討される場合には、必要な経費の一部を支援する助成金も活用いただくことが可能です。本取組が、オープンイノベーションの実践に向けて一歩を踏み出すきっかけになればと考えております。

3. エコシステム形成に向けた連携

本取組では、企業やスタートアップのみならず、オープンイノベーションを支援する多くの企業・団体にもご参画をいただいております。金融機関や

商工会議所等の支援機関、ベンチャーキャピタル、大学関係者、行政機関等、約20の企業・団体の皆さまに「事業サポーター」としてご参加いただき、情報発信等によるオープンイノベーションの裾野拡大をはじめ、企業間のマッチング支援や他社との協業に向けたメンタリングなど、より多くの方々に兵庫県内でオープンイノベーションに取り組んでいただくための環境構築に努めております。

オープンイノベーションは、業種や保有する経営資源、企業の経歴、取り組む背景等が異なる企業同士が共創するからこそ、新たな価値が生まれる可能性を秘めています。その一方で、異なる両社であるからこそその取組を進めていく難しさもあります。そのような中でも、企業同士の交流が自発的かつ頻繁に行われ、次々と共創プロジェクトが生まれるような「エコシステム」を構築するため、さまざまな企業・団体の方々と連携し、オープンイノベーションの推進に取り組んでいます。

4. 共創による社会課題解決

また、兵庫県として自治体と県内企業やスタートアップとの協業による社会課題解決に取り組んでいます。

「ひょうごTECHイノベーションプロジェクト」では、県内自治体が抱える社会課題を県内企業やスタートアップが持つ革新的な技術・サービスで解決を図る実証支援を展開しています。学校

に侵入する鳥獣対策や消防団員の担い手不足など、県内のさまざまな地域で発生している課題について、兵庫県をフィールドとして先進的な手法で解決を図るものです。

この取組から他自治体へ横展開された事例もあり、兵庫県も一自治体として積極的に民間企業等との共創に取り組むことで、社会課題の解決に資するイノベーションの創出を後押ししています。

5. おわりに

多くの日本企業は、これまで自前で技術開発等に取り組んできた経緯があるため、オープンイノベーションに取り組む際には、組織風土改革や人材不足、予算確保、経営幹部による意思決定の難しさ等、さまざまな課題があるといった声をよく伺います。

一方で、「現状のままではいけない」「何か新しいことに取り組まないといけない」「しかし何をどうしたらいいのかわからない」といった企業の方々も多いのではないのでしょうか。

兵庫県は、そのような企業の方々が集まって課題や情報を共有し共創する場を設け、皆さまの挑戦を力強くサポートします。兵庫県から世界を驚かすイノベーションを起こしましょう。

※ピッチ 発表会形式にて短時間で簡潔な表現で相手に提案をすること、またはその機会